



《 目 次 》

- 今月のトピックス
 - ・ 南会津町中荒井集落が豊かなむらづくり全国表彰にて農林水産大臣賞受賞！
 - ・ 令和2年度福島県優良建設工事表彰で南会津地域の2社が受賞！
 - ・ 令和2年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました
 - ・ 地産地消メニューの学校給食を取材しました！ in 伊南小学校
 - ・ 第3, 4回「おいしい ふくしまいただきます！」キャンペーンを開催しました
 - ・ 南会津産そばを食べて応援しよう！
 - ・ ふくふくしめじのモデル栽培に取り組みました
 - ・ 農地・農業用施設の復旧工事が完了しました
 - ・ 第68回南会津地方植樹祭 in 南会津町
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・ エコファーマーになりませんか！
 - ・ コロナによる減収も補償！収入保険で備えを。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の支援情報
- コラム
 - ・ キラリと光る南会津の6次化商品
～南郷トマト100%ジュース「夏秋」～
 - ・ 職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

令和2年12月21日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

南会津町中荒井集落が豊かなむらづくり全国表彰にて農林水産大臣賞受賞！

11月18日（水）に宮城県仙台市仙台第1合同庁舎にて、令和2年度豊かなむらづくり全国表彰東北ブロック表彰式が行われ、南会津町中荒井区が農林水産大臣賞を受賞しました。豊かなむらづくり全国表彰事業は、各県知事がむらづくりの優良事例1件を推薦し、表彰されます。

中荒井区は「集落でできることは集落で」の精神で、集落の実態・課題を把握し、「なかあらい元気づくり計画」の策定や組織体制の整備を行いました。また、町や県の事業を有効に活用しながら鳥獣被害対策、農地や河川、里山林の整備を実施し、農地の再生、鳥獣による農業被害の減少、水生生物の生息環境改善などの成果をあげました。さらに、地区の景観形成や地域の伝統行事、文化祭等を開催し、集落の活性化を図っています。その功績が認められて県代表として推薦され、今回の受賞となりました。

今後も継続して住民主体のむらづくりを進めていけるよう、当事務所としても支援してまいります。（農業振興普及部）



電気柵設置の様子



豊かなむらづくり全国表彰事業表彰式

令和2年度福島県優良建設工事表彰で南会津地域の2社が受賞！

9月4日（金）、コラッセふくしま（福島市）において令和2年度福島県優良建設工事表彰式が開催されました。

農林水産土木工事に関しては、7部門9社が表彰され、南会津地域からは株式会社渡部工務所と株式会社久米工業がそれぞれほ場整備部門と林道部門で受賞されました。

株式会社渡部工務所は、南会津町田部地区のほ場整備工事にあたり、集落・学校の周辺であったことから、生活用水確保のための水替えや近隣学校との事前調整による通学路の安全確保など、周辺住民の生活環境を考慮した施工であったこと、また、同地区でのアスパラガス等の高収益作物導入に向けて、表土厚を確保するための綿密な計画の作成や土壌改良、石礫除去などといった将来の地域営農を見据えた対応が高く評価されました。

株式会社久米工業は、昼滝向山線（南会津町針生字昼滝山地内）における県営の林業専用道工事にあたり、路体内で複数箇所発生する湧水対策として、暗渠管や礫暗渠を埋設するなど、現場の状況を考えながら積極的に対策を講じ、工夫しながら良好に現場を仕上げ、出来映えや品質に優れた施工であったことが高く評価されました。

2社ともに環境への配慮や社会貢献活動が高く評価され受賞に至りました。さらに、株式会社渡部工務店は3年連続の受賞となったことから、知事より特別賞の表彰も受けています。

当事務所では今後も優良建設工事を推進してまいります。

（農村整備部・森林林業部）



南会津町田部地区のほ場



林業専用道昼滝向山線

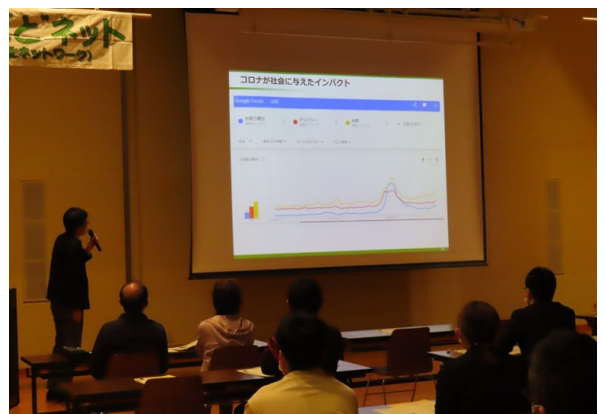
令和2年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました

10月28日（水）、南会津町の御蔵入交流において令和2年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました。

今回は、いわきユナイト株式会社代表取締役の植松謙氏より「コロナ禍におけるマーケティングの考え方」について講演をいただき、ウィズコロナにおける地域産業6次化の発展について学びました。また、ふくしま地域産業6次化サポートセンターによる6次化無料個別相談会も同日に開催し、新たに6次化に取り組みたい事業者などから4件の相談がありました。交流会参加者からは特に「オンラインによる情報発信の重要性」と「スピード感」に関する感想が多く聞かれ、コロナ禍においても会津地方の6次化の推進に対する熱意を感じた交流会となりました。

今年度の第3回交流会は2月を予定しておりますので、是非ご参加ください。

（企画部）



植松氏による基調講演の様子

地産地消メニューの学校給食を取材しました！ in 伊南小学校

福島県では、学校給食等での県産農林水産物の積極的な活用を促すため、食材購入費の補助事業を行っています。南会津地域では、今年度6団体が本事業を活用して、児童・生徒にうれしい給食を提供しています。11月19日（木）にその一つである伊南小学校を取材しました。

この日の給食は、只見町特産の岩魚（いわな）を使った「岩魚の唐揚げ・えごま味噌焼き」をはじめ、「大根葉ご飯」、「豚汁」と県産食材をふんだんに使ったメニューでした。5年生の皆さんは、「岩魚の唐揚げは歯ごたえがある。甘じょっぱい味付けがおいしい。」と笑顔で答えてくれました。

また、栄養士の横田みえ子さんに地産地消についてのお話を伺ったところ、「只見産の岩魚は臭みが無く美味しい。地元農家や業者など、皆の協力があってこそ地産地消は成り立つ。」と熱く想いを語ってくださいました。

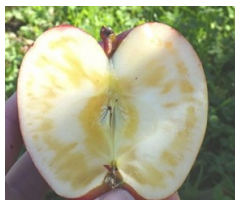
当事務所では今後も地産地消、食育推進の取組をサポートしてまいります。（企画部）



給食を食べる児童たち

第3, 4回「おいしい ふくしま いただきます！」 キャンペーンを開催しました

10月17日（土）に道の駅たじま、同24日（土）に道の駅しもごうで「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。今回は、高冷地での栽培に適した福島県オリジナル米「里山のつぶ」と、本州では一部の地域でのみ栽培され、蜜の入り方が芸術的な南会津産のリンゴ「ひめかみ」リンゴ「ひめかみ」をPRしました。



17日（土）はあいにくの雨でしたが、実りの秋を楽しむ多くのお客様やうつくしまライシーホワイトによるPRが功を奏し、24日（土）は秋晴れと紅葉シーズンが重なって、各回ともに

終了予定時刻の1時間前には抽選会の賞品が無くなってしまふほどの大盛況となりました。

今回のイベントでは、県外からの来場者も多く、一般栽培が始まってから4年目の里山のつぶを初めて手に取っていただく機会になったこと、また、ひめかみは、購入を希望される方もあり、人気の高さが伺えました。生産の振興に合わせてさらなるPRに努め、認知度の向上と消費拡大につなげていきたいと思ひます。

（企画部）



第3回（左）、第4回（右）「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンの様子

南会津産そばを食べて応援しよう！

南会津地域は県内でも有数のそばの産地です。福島県オリジナル品種のそば「会津のかおり」の栽培も盛んで、冷涼な気候で栽培されるそばは市場での評価が非常に高い特産品です。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う観光客の減少や外食需要の落ち込みにより、そばの需要が減少しています。玄そばの市場価格は下落し、各そば店における客数も減少傾向で、南会津産そばを取り巻く情勢は厳しい状況が続いています。

この状況を打破するには、皆様にこの香り高く美味しいそばを消費していただくことが一番です。南会津産そばは、主に当地域の直売所・飲食店で提供されていますので、是非食べて応援しましょう！

（農業振興普及部）



福島県オリジナル品種「会津のかおり」

ふくふくしめじのモデル栽培に取り組みました

福島県では、オリジナル品種「ほんしめじ福島 H106号(愛称：ふくふくしめじ)」の産地化促進と栽培技術の確立に向け、「福のしま『きのこの里づくり』事業」を実施しています。

南会津地域では、平成30年に下郷町林業振興協議会がふくふくしめじのモデル栽培を開始し、令和元年には南会津町の有限会社伊南の郷が加わって、2団体でモデル栽培に取り組んでいます。試行錯誤しながらも平成30年には約15kg、令和元年は合計約12kgのふくふくしめじを生産することができました。

今年は両団体共にきのこの発生はたいへん良好で、合計100kg以上の生産実績となっております。10月中旬頃から道の駅や直売所等でふくふくしめじが販売されました。食べた人からは「美味しかったのでまた購入したい」「野生のものに比べても遜色ない味」といった声が寄せられ、好評でした。皆様も店頭で見かけた際には、是非お手にとってみてください。

(森林林業部)



福島県オリジナル品種「福島H106号(ふくふくしめじ)」

農地・農業用施設の復旧工事が完了しました

令和元年10月12日の台風19号により、南会津地域に大きな被害(農地4、農業用施設8の計12箇所)がもたらされました。しかし、災害復旧を行った施工業者の努力と関係各位のご協力により、竜伏堰をはじめとする全ての農地・農業用施設の復旧工事が11月末までに終了しました。皆様のご尽力に感謝申し上げます。

これにより、既に今年度中に作付けを終えた箇所につき、農業用施設(取水堰)の復旧が完了し、次年度の作付けに向けて、安定的な用水の確保が可能となりました。(農村整備部)



竜伏堰 【被災状況】 (撮影：R1.10.23) (左)



竜伏堰 【竣工後】 (撮影：R2.11.17) (右)

第68回南会津地方植樹祭 in 南会津町

10月30日(金)に、南会津町南郷地区にて南会津地方植樹祭が開催されました。この植樹祭は、平成30年6月に南相馬市で開催された「第69回全国植樹祭」の理念を継承し、緑豊かな南会津地域を次世代に引き継いでいくことを目的で開催されています。当日の会場は100名以上の方々が集まり、植樹活動及び緑化功労者の表彰が行われました。

植樹活動では、南会津町長を始め各町長や農林事務所長、田島第二小学校・伊南小学校緑の少年団、南郷小学校の生徒によるオオヤマザクラの植樹や、参加者全員による植栽作業が行われました。

緑化功労者としては、長きにわたり、ひめさゆりの栽培やヤマザクラの苗木の育成、森林被害対策などの緑化維持・森林保全活動を続け、地域の林業振興や緑化事業の発展に貢献したとして、月田禮次郎さんが表彰されました。

また、平成13年度から南会津地方緑化推進委員会に対し、南会津工房「き」で製作した木製玩具の売り上げの一部を寄付したとして、株式会社高島屋に感謝状が贈呈されました。

緑豊かな南会津地域を守っていけるよう、当事務所としても協力してまいります。

(森林林業部)



参加者集合写真

エコファーマーになりませんか！

エコファーマーとは、化学肥料・化学農薬の低減に取り組む「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を作成し、県知事の認定を受けた方です。農業生産性の向上を図りながら、生態系が有する自然循環機能を活かし、環境と共生する農業を目指しています。

エコファーマーが生産した「エコ農産物」には、PRマークをパッケージなどに貼って出荷・販売することができます（シール等作成費用は自己負担です）。

個人の申請、グループ申請どちらも可能ですので、あなたもエコファーマーになってみませんか？詳細は以下へご相談ください。



PRマークの例

○問い合わせ先

農業振興普及部 電話 0241-62-5264
(農業振興普及部)

コロナによる減収も補償！収入保険で備えを。

収入保険は、ほぼ全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下などによる収入減少を幅広く補償します。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した場合も含まれます。

補償の度合いは、基本のタイプの場合、保険期間の農業収入金額が基準収入金額（青色申告をもとに設定）の9割を下回ったとき、下回った額の最大9割を補てんします。例えば、1000万円の基準収入金額がゼロになった場合、810万円が補てんされます。

さらに、福島県では福島県収入保険加入促進事業を設け、新型コロナウイルス感染症の影響により農業収入が減少した方を対象として、令和3年の保険料の一部を補助します。なお、事業の申請には、令和3年3月中旬までに令和2年分の確定申告の写しを提出いただく必要があります。

令和3年の収入保険への加入申請は、令和2年12月末までとなっています。お早めにお申し込みください。

○問い合わせ先

NOSA I 福島
HP : <https://fukushima-nosainet.jp/>
会津支所 電話 0241-23-5144
南会津出張所 電話 0241-62-5588
(農業振興普及部)

新型コロナウイルス感染症の支援情報

1 新型コロナウイルス感染症対策に関する関連情報

(1) 一般向け

新型コロナウイルス感染症についての様々な情報を提供しています。詳しくは、以下のポータルサイトをご覧ください。

【新型コロナウイルス感染症】関連情報ポータル
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/covid19-portal/>



(2) 農林漁業者向け

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農林業者を対象に、支援情報を提供しています。詳しくは以下の県庁農林企画課ホームページをご覧ください。

「新型コロナウイルス感染症に係る情報（農林漁業者等向け）」（県庁農林企画課HP）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>

2 南会津地域における農林業者相談窓口

南会津地方の農業・林業の経営相談に応じるとともに、対応可能な支援制度を紹介します。

・開設日時：8時30分～17時15分
(土・日・祝日を除く)

- ・農業に関すること
農業振興普及部 電話 0241-62-5644
南郷普及所 電話 0241-72-2243
- ・林業に関すること
森林林業部 電話 0241-62-5371

キラリと光る南会津の6次化商品 ～南郷トマト100%ジュース「夏秋」～

南郷トマトと言えば、福島県で初めて地理的表示（G I）保護制度に登録されるなど、本県屈指のブランド野菜です。そんな南郷トマトを100%使用したジュースがあるとしたら、飲みたくなりますよね。

今回ご紹介する南郷トマト100%ジュース「夏秋」は、「今までとは異なるアプローチで南郷トマトの産地体制を支えたい。」という熱い想いのもと設立された株式会社食農価値創造研究舎より発売された、トマト好きにとってはまさに理想のトマトジュースと言える6次化商品です。

おいしさの秘訣はその製法。食品添加物を用いないのは当然として、収穫されたトマトを3日以内にマイナス18℃以下で貯蔵し、冷凍のまま加工します。こうすることによって「夏秋」はトマト本来の味を保ち、トマト好きを唸らせる逸品となります。

そんな南郷トマト100%ジュース「夏秋」は南会津地方の道の駅等で購入できるほか、株式会社食農価値創造研究舎HPより全国発送も申し込むことができます。製法にこだわったからこそ南郷トマトをまるごと味わえるこの味、是非ご賞味ください！

○株式会社食農価値創造研究舎HP

<https://syokunouken.jp/>

(企画部)



南郷トマト100%ジュース「夏秋」

職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

先日、ある会合で南会津町の「ゴーマン杯ふるさと健康マラソン大会」の話題となった。さて「ゴーマン」とは？ 更に詳しく尋ねてみた。

ボストンマラソン、ニューヨークシティマラソンでそれぞれ2回ずつ優勝し、アメリカのランナーズ殿堂入りを果たした女性選手、それがゴーマン美智子さん。彼女は中学3年生まで館岩地区で過ごし、郡山市の女子高、短大へと進み、その後28歳で渡米、33歳からアメリカで走り始めたという遅咲きのランナー。

最初の優勝は1974年のボストンマラソンで、彼女が39歳の時。そして1977年には、ボストンとニューヨークシティの両マラソンで優勝を果たす。これまで同一年に両方を制したランナーは、彼女の他に一人しかいないという大記録だ。

現役当時からたびたび来日してランニング愛好家の指導を続け、多くの日本人から慕われつつ、2015年に80歳で他界する。

残念ながら2020年の大会は中止になってしまったが、次の大会ではご当地の偉大なマラソンランナーに思いを馳せながら、走ってみたいと考えている。

(農村整備部長 渡邊 長)



あるマラソン大会から

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。